

宝木校区 人権推進協だより

出逢い、触れ合い、助け合い

会長 岡田寿晃

『人権』について学習することとはとても大切です。宝木校区人権啓発協議会は、学習そのものを事業として取り上げるのではなく気楽に顔が出せる場で、誰もが自分の意見を言え、力を出し合っ集まりを盛り上げることをねらっています。

数年前に標語的に出した言葉

『出逢い・触れ合い・助け合い』はまだ成就されておらず、今年もテーマにしていきたいです。



21年度小地域懇談会

何といっても小地域懇談会を成功させることにあると思っています。成功とは、多数の参加者が自分の想いを語れる場に、会終了後も、人権について考えをもち続けられることだと思っ

ています。十八名の役員と各部落の区長さんの努力で開催される小地域懇談会に是非ともご参加ください。

ところで、昨年度までと異なることがありました。過去長い年月にわたって同和、人権教育に中心的に取り組んでくれたいた学校教育現場が我が団体と『タモトを分つ』ことになりました。復帰してくれることを願って窓口を残しています。が地域・社会・学校という総合的な推進の一部が欠落したことは悲しいことです。

同和問題だけに絞った人権尊重の教育は、男女・障害者・高齢者・子ども・民族…と拡大され、その人の立場になって理解していくのが苦しい状況にあります。『人が人らしく生き・幸せを感じ・満足できる人生を送る』ことを基本にすえた言動をとればおのずと啓発につながるのでないでしょうか。



あらゆる差別的撤廃にむけて

副会長 秋山智博

人権啓発推進協議会（前身の同和教育推進協議会）は、部落差別等を行行政だけでなく地域住民でも解決していく目的で設立し活動をはじめました。部落差別は同和地区の人を様々な場面で、あらゆる差別に対する人権侵害です。

ではどうやって部落差別をなくしていくのか。四つの段階が必要だと思います。第一はどんな差別なのか、どんな被害を与えてきたかの事実を知る。第二は歴史に照らして、なぜに加差別と被差別に分けられたのか原因を分析し・考察する。第三は、人間は本来どうあるべきなのかを自問自答する。人はみな、自由・平等で幸せを求めることが出来るのに、妨げる社会があるのは何故か、どこに問題があるのかと。第四は解決のために行動を起こすことです。いがみ合う差別の社会から助け合う共生の社会へと導くためにはどんなことでも始めることです。

部落差別をみると、この加

差別と被差別は個人間で起きているのではなしに、国の成り立ちや制度や仕組みからくるいやいなしの『強制』によるものと思えます。そのことが、地域社会にあつては長い年月によって、同じく異なることが良とされ、違うことや異なることを嫌い・否定する狭い共同体がつけられ、広域の共生の理念が育たなかつたことが言えるのはでないでしょうか。

同じように歴史上、強制あるいは実質強制があります。主なものでも、男性と女性・健康者と障がい者・元ハンセン病患者の方・東アジア（朝鮮半島や台湾・中国大陸・東南アジアの方・学校でのいじめ・都市と地方・沖縄の方・被爆者の方・アイヌの方などです。

差別の現れかたや、人生を傷つけ、生活を厳しい状態に追い込む姿は同じものがあります。何が人を幸せにし、何が人を傷つけるのかを常に検証し、少しでも日常生活が上向くような変化や改善に結びつくような生きた研修や啓発を共に目指していきます。



平成22年度 事業計画

期 日	会	研 修	たより
4月			
5月	総会・役員会	↑	
6月			
7月		役員研修	
8月		講座・集会・大会	
9月	役員会		たより発行
10月			
11月		交流会	
12月	役員会		
1月			
2月			
3月	役員会	↓	たより発行



宝木校区人権啓発推進協議会
平成22年度予算書

2010年4月1日～2011年3月31日

収入の部

費 目	本年度予算	前年度予算	増 減	備 考
助 成 金	155,000	155,000	0	鳥取市より
繰 越 金	0	0	0	
雑 収 入	0	0	0	
合 計	155,000	155,000	0	

支出の部

費 目	本年度予算	前年度予算	増 減	備 考
会 議 費	20,000	20,000	0	総会、役員会、懇談会
研 修 費	55,000	69,000	△ 14,000	交流会、研修会 スクリーン購入費含む
広 報 費	15,000	15,000	0	たより2回
負 担 金	5,000	5,000	0	市地区人推協
需 用 費	25,000	15,000	10,000	消耗品
旅 費	5,000	5,000	0	
通 信 費	1,600	1,600	0	切手
推 進 員 費	24,000	24,000	0	手当6000円×4名
予 備 費	4,400	400	4,000	
合 計	155,000	155,000	0	

宝木校区人権啓発推進協議会 役員名簿

平成22年4月現在

職 名	地 区	名 前	区 分
会 長	上 光	岡田 寿晃	健康づくり推進員
副会長	富 吉	吉 田 亨	宝木地区公民館長
	酒 津	橋本 敬一	酒津地区公民館長
	夏ヶ谷	秋山 智博	解放同盟気高支部長
人権啓発推進員	宝 木	藤本 高一	部落解放運動実践者
	宝 木	野村 雅江	人権擁護委員
	酒 津	瀧本 昭良	民生児童委員
	水 尻	山本寿美子	人権啓発推進員
幹 事	酒 津	西尾 雅彦	部落区長・地域審議会委員
	上 光	岡田 和彦	部落区長・福祉委員
	下光元	池 原 準	学識経験者
	夏ヶ谷	藤本 武夫	部落区長
	常 松	奥田志磨子	学識経験者
	富 吉	岡本 憲昭	部落選出人権学習推進員
	宝 木	米田 克彦	学識経験者
	水 尻	玉置 純二	部落区長・福祉委員
	奥沢見	竹本 均	部落区長・福祉委員
	監 事	富 吉	村上 勲
下光元		山本 京子	市職員

顧 問	酒 津	河根 裕二	市議会議員
	宝 木	本部 享司	社会教育委員、市民館運営審議会委員

事務局	宝 木	山本 忠孝	宝木地区公民館主事
	酒 津	平田 芳子	酒津地区公民館主任

部落選出人権学習推進員

平成22年4月現在

地 区	人権学習推進員	区 長
上 光	岡田 和彦	岡田 和彦
	公納 義男	
下光元	三谷 馨	山本 正博
夏ヶ谷	藤本 武夫	藤本 武夫
常 松	谷口 豊弘	谷川 寿一
富 吉	岡本 憲昭	吉村 康義
	吉村 康義	
宝 木	吉村 文夫	吉村 文夫
	三村 昌和	
水 尻	玉置 純二	玉置 純二
	川田 嘉宣	
奥沢見	竹本 均	竹本 均

今年度総会も五月二十二日開催され、事業も決まりました。
小地域座談会を始め、主な事業は九月頃から実施されます。多くの人の参加をいただき、「人権感覚」を磨く機会になればと思います。
次回の「たより」発行には多くの方のご寄稿を予定しておりますので、協力を宜しくお願いいたします。

編集後記



平成22年度 小地域懇談会開催日

部落名	開催日	曜日	開催時間
常 松	9月19日	日	19:00
下光元	10月15日	金	19:30
水 尻	10月16日	土	19:30
富 吉	10月27日	水	19:30
夏ヶ谷	10月29日	金	19:30
宝 木	10月29日	金	19:30
上 光	11月6日	土	19:30
奥沢見	11月14日	日	19:30
酒 津	11月26日	金	19:30